

◎避難所運営委員会での協議状況と今後の方向性について

1 あやめ台小学校での協議概要

- 日時 平成26年12月13日(土) 10時～11時
- 場所 あやめ台小学校会議室
- 出席者 避難所運営委員会：9名、千葉市：7名

【協議結果の概要】

- ①「災害時に誰が管理するのか」や「市ではどこまで関与するのか」といった質問があり、使い方の検討に至るまでの説明で時間を要した。
- ②災害時における設備の活用方法のイメージを、住民間で共有するところが難しかった。
- ③「使用設備の電力量試算」や「マニュアル内容の検討」は①、②を経て行われる必要があり、第一回目では資料の説明までで、設備の活用方法やマニュアルの内容についての質疑や具体的な検討への到達は難しかった。

【課題と解決方針】

- ①設備活用や取組み方針をイメージしやすくする必要があると思われた。
⇒ 目標設定をわかり易いものとし、今後は「実際に設備を使った避難訓練を行うこと」を活動の目標にする。併せて、事前アンケートを実施する。
- ②災害時の活動状況を想定した電力使用量の試算を行うことで、具体的な検討が実現されると考えていたが、一方的に説明を行う形となってしまった。
⇒ 検討手法は簡便化したうえで、イメージしやすい目標を示し、その目標達成に向けて自由に発言を求め、議論の活発化を図っていく。

【住民連携手法の改善ポイント】

「マニュアルの準備」 ⇒ 「具体的活動への落とし込み」 に視点をチェンジ

2 登戸小学校での協議概要

- 日時 平成27年3月7日 午後3時～午後5時
- 場所 新千葉・登戸自治会館「ひまわり会館」
- 出席者 避難所運営委員会：12名、千葉市：3名、中外テクノス：2名

【協議結果の概要】

- ①目標として「避難訓練で設備を使ってみましょう」という説明から入ったが、「市としてどのように対応するのか」といった前提となる質問も多く出された。
- ②避難訓練に当たり「災害の規模によって人がどれくらい来るのか、どんな活用をすべきか」といったことを具体的にしないと話が定まりづらいとの意見が出された。
- ③避難訓練では「他の自治会等興味を持つ方の参加も受け付けて進める」といった、実際の活動を見据えた意見が出された。
- ④避難所となる学校側から、避難訓練において貸与いただく電気機器を示してもらえた。

【課題と解決方針】

- ①設備導入事業の「概要の説明」と避難訓練の進め方といった「具体的な取組みの説明」を明確に分けなかったため、議論のポイントが定まりづらかった。
⇒ 「事業概要」と「避難訓練の取組み」で説明と質疑の時間を区切り、共有情報を段階的に整理して進めることでポイントを明確にする。
- ②避難訓練を想定することで議論が活発化したと思われる。この流れを生かし、具体化に向けた方向付けが必要と思われた。
⇒ 具体的に設備を活用した避難訓練を昼や夜のパターンで例示するなど、「実際に設備を使った避難訓練」がイメージできるような工夫していく。

【住民連携手法の改善ポイント】

「具体的活動」として避難訓練を第一ステップに提示する

⇒ 「概要の協議」と「具体的活動の協議」でメリハリをつける

3 今後の住民連携の方向性

- (1) 住民連携の方法の確立に向けて

第一歩目として「避難訓練」を目標に掲げ、避難訓練を繰り返す中でステップアップを図っていく

⇒ 住民主体の「PDCAを意識した取組み」を目指す（避難訓練は「C」）

- (2) 住民連携における今後の視点

- ・活用に至る進め方（ステップアップ表）
- ・活動レベルに合わせた目標設定
- ・避難所の運営スタイルの確立（積極活用スタイル、ベース電源スタイル）

⇒ 運営委員会の熟度で進め方が異なることが想定され、今後も多くの避難所運営委員会と協働する中で効果的な連携方法を検討していく